

# 「こうわん・くこう」だより

kouzu-shima  
**神津島**  
発行：平成26年9月

## さよなら「かめりあ丸」最後の航海

昭和61年に就航した、東海汽船の「かめりあ丸」は、平成26年6月8日の航海を最後に28年間の営業航海を終了しました。

最後の航海となった6月8日の日曜日には、多くのファンとともに最終寄港地の神津島港にて、お別れのセレモニーが開催されました。この日の天候は「晴れ」、南の風、温度21度と天候に恵まれ、10時30分に大勢の島民・観光客に見送られながら東京竹芝桟橋に向けて出港しました。

当日の神津島での乗降客は、下船79名、乗船46名でした。今後は、建造された内海造船瀬戸田工場に回航され、インドネシアの船会社に引き渡されるそうです。

これに伴い、これまで八丈島航路で活躍していた「さるびあ丸」が、6月28日から神津島航路で活躍しています。

かめりあ丸



## 調布飛行場にバスが直結！

新中央航空の利用が大変便利になりました。

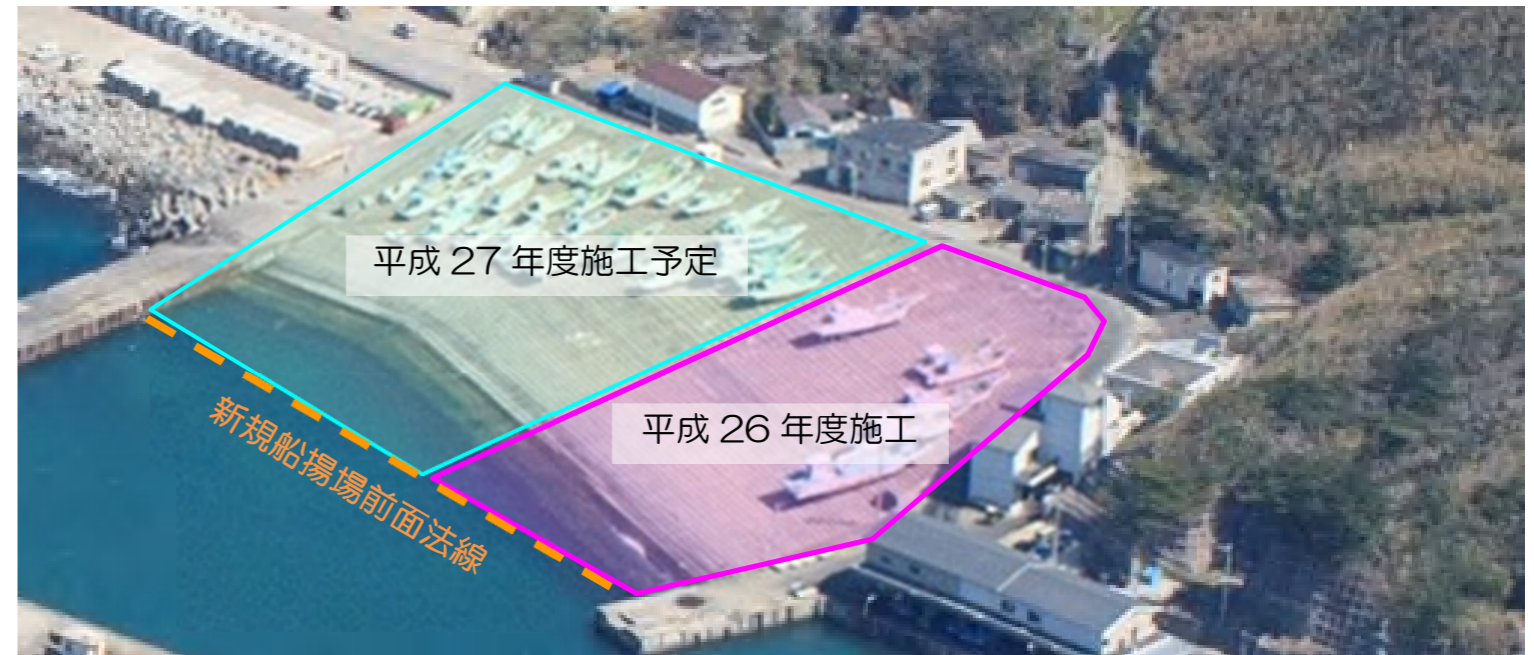
これまで調布飛行場から最寄駅までのバス便が不便で、大沢コミュニティのバス停まで15分も歩きましたが、7月1日から調布駅北口と調布飛行場のバス停を結ぶ便が17本に増便されました。タクシーを利用しなくても220円で調布駅まで利用できます。調布駅と飛行場間の所要時間は15分です。

## 神津島港船揚場改良工事の本格的な着手開始

平成26年7月から本格的に神津島港船揚場の改良工事が開始されましたので、その紹介をします。

神津島港船揚場につきましては、法線が途中で折れ曲がった平面線形の構造であること。また、老朽化による陥没等に伴うコンクリート舗装版の不陸と滑木の凹凸が発生しているため、安全で効率的な利用に支障をきたしていました。

そこで、船揚場前面の埋立を行い、前面法線を直線にします。また、それに合わせてコンクリート舗装版の改修も行います。供用しながらの施工になりますので、本年度には船揚場南側、平成27年度には船揚場北側を施工する予定です。



船揚場改良工事 全景



施工状況-1



施工状況-2

8月末の現在は、仮設工を実施しています。今後とも工事の際は、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力の程よろしく申し上げます。

港湾・空港へのご意見・ご要望、ご質問は下記まで

◆大島支庁神津島港湾空港管理事務所

電話：04992-8-1311 FAX：8-1313

◆大島支庁神津島出張所港湾空港工事担当

電話：04992-8-0311 FAX：8-0313